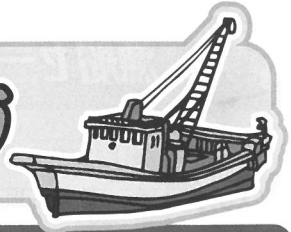




# 何でも魚<sup>うお</sup>ツチング



## アワビの食害生物について～アワビを食べる憎いやつ～

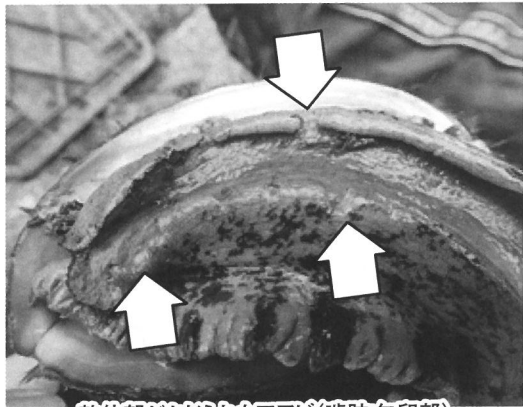
今年(平成31年)は暖冬で雪が少ない年でしたが、皆様体調はどうでしょうか。雪が多くても少なくても風邪をひいてしまう水産試験場6年目の櫻井が、今月の話題を提供いたします。

今回のお題はアワビについてです。昨年度、今年度と、アワビ漁は非常に厳しい漁模様でした。先日講演する機会を頂きました浅海漁業連合会総会でもお話をさせていただきましたが、今後アワビ資源を維持していくためには、漁場の管理と放流効果を上げる取り組み・意識が重要になってきます。海域環境の変化が大きくなっているため、これからはアワビ漁場を畑・里山と同じように人が手を加えて管理していくことが必要と考えられます。

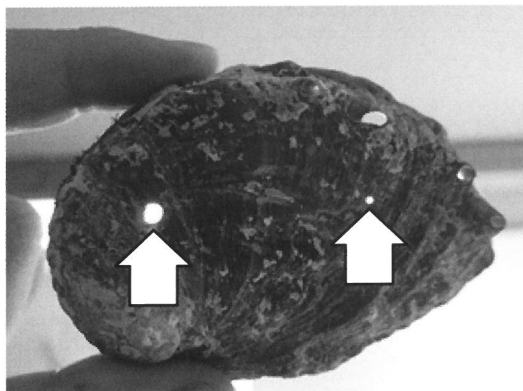
**海に転がっているアワビの貝殻について**  
序盤に重い話をしてしまいました、そろそろ本題に入っていきたいと思いますが、そろそろ本題に入っていきたいと思つたら殻だった：ということがあると思つたと思います。私も仕事で潜水している際に裏返ったキラキラしているアワビの貝殻を良く見かけます。この死んでしまったアワビたちは体調不良、または寿命で死んでいるものも多いのですが、何者かに危害を加えられて死んでしまったアワビもおります。犯人はアワビを食べる生物達です。「食害生物」という表現もします。ちなみに私はアワビの「食害生物」ではありません。アワビの子供を育て、保護をし、食堂となる藻場を作っておりますので、アワビ達は私のことが大好きなはず：です。  
**アワビを食べる犯人たち**  
アワビの食害生物についてですが、「ニシガイ」、「タコ」、「ヒトデ類」、「イシガニ」、魚では「イシダイ」、「クロダイ」、「フグの仲間」が主要メンバー

でしょうか。それぞれ、食べることが出来るアワビの大きさや食べ方が異なり、死んだ貝殻を見ると犯人が分かることがあります。まず、殻に穴を開けるタイプ。殻をドリルのように削り、穴を開け、そこを基点に軟体部を食べてしまうのは、タコとニシガイです。タコの方が大きい穴を開けるので、どちらの仕業か見分けは可能です。ニシガイから食害を受けやすいのは、稚貝の時です。タコは大きい貝も食べてしまいます。次に、殻を粉々に砕いて食べるタイプ。この食べ方はイシガニ、魚類達です。イシガニはハサミで貝殻を砕き、クロダイ・イシダイはこの堅い歯で貝殻を割って食べます。この食べ方は稚貝が主対象となり、放流後に良く見受けられます。フグは蓄養かごにイタズラをする姿が良く見受けられます。最後に、そのまま食べるタイプ。これはヒトデになります。

**被害を防ぐためには**  
稚貝が食べられるのを防ぐには、放



軟体部がかじられたアワビ(嚙跡:矢印部)



殻に穴を開けられたアワビ(嚙跡:矢印部)

流時期・放流場所をしっかり定めることが大切です。基本は、水温が低い時期。つまり春先です。そして春は海藻が多い時期なので、餌も多くなり、何より隠れる場所がたくさんあります。我々にできることはニシガイやタコ、ヒトデなどの数を見て、多ければ駆除すること、餌や隠れる場所となる藻場を造成・保全していくことだと思います。成貝の被害を防ぐには、タコ対策になると思います。タコも重要な水産資源なので、利用しつつ、アワビを守っていくことが必要です。加えて、密漁を防いでいくことも大きくなったアワビを守るにつな갑니다。

山形県水産試験場浅海増殖部 研究員  
櫻井 克聡

### 漁業経営の資金繰り資金を支援します！

当組合では、漁場環境悪化による漁業経営を支援するため「漁業経営特別支援対策資金」を実施しております。本資金は、漁協独自の貸付資金として本所信用共済課、各総括支所にて受付をしておりますので、随時ご相談いただけますようよろしくお願いいたします。

- 1) 融資額 200万円以内
- 2) 受付期間 随時
- 3) 資金使途 漁業経営にかかわるもの
- 4) 貸付期間 5年以内
- 5) 貸付利率 年利3.05%
- 6) 連帯保証人 なし
- 7) 担保 融資対象漁船または不動産。現在徴求済み担保が不足する場合は、追加徴求となります。(ただし、50万円までの融資については無担保)

詳細は、当組合のホームページにも掲載しております！